

日田市いじめ・不登校対策アクションプラン  
(平成30年度)

平成30年4月

日田市教育委員会

## いじめ・不登校対策アクションプラン

### <平成30年度の目標及び取組>

#### 【目標】

- いじめの解消率を中学校は90%以上、小学校は95%以上をめざす。
- 不登校生の出現率を中学校は生徒数の2.17%以内、小学校は児童数の0.33%以内をめざす。

#### 【取組】

##### 1 計画・組織

- 育友会と連携し、情報モラル教育を推進する。
- 「日田市児童生徒支援アクションプラン平成30年度版」を作成し、周知・徹底を図る。
- 各学校の「いじめ対策・不登校児童生徒支援プラン」「校内不登校児童生徒支援マニュアル」の検証・改善サイクルの構築を図る。
- 教育相談担当者会における研修の充実と各取組の周知の徹底を図る。
- 地域児童生徒支援コーディネーターの定期的な学校巡回を行い、教育相談体制の充実に資する支援・助言を行う。

##### 2 未然防止

- 生徒指導の3機能を生かした授業づくりや道徳・人権学習、情報モラル教育等を通じた人権感覚や規範意識の醸成を図る。

生徒指導の3機能

「自己決定の場の設定」「自己存在感を与える場の設定」「共感的人間関係を育む場の設定」

- 未然防止の視点からの学級・学校集団づくりを推進する。
- 「小中児童生徒支援引継シート」の取組を推進する。  
「小中児童生徒支援引継シート」：長期にわたって欠席をしている児童生徒への支援等を次年度に引き継ぐシートです。

##### 3 初期対応

- 校内対策組織（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を含む）を中心とした組織的な初期対応を行う。
- 日常の観察や欠席状況把握シートによる、前兆を見逃さない早期発見・早期支援を推進する。

#### 4 解決支援

- 校内対策組織を中心とした組織的な解決支援を行う。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育センター等を活用した的確な見立てによる個に応じた適切な支援を推進する。
- 児童生徒や保護者の思いに寄り添った支援を実施するため、心の相談員の活用を推進する。
- こども未来課、児童相談所等との連携を図りながら児童生徒・保護者支援を行う。

#### 5 貧困対策

- 家庭環境に起因する様々な課題を抱える子どもへの支援体制づくりを推進する。

### <地域児童生徒支援コーディネーターの活用計画>

#### 【拠点校での活用計画】 三隈中学校 週2日勤務

#### 光岡小学校 週2日勤務

##### 1 計画・組織

- 校内「いじめ対策・不登校児童生徒支援プラン」の作成・検証・改善と徹底
  - ・実態を踏まえた新たなプラン作成とその組織的な取組、検証・改善サイクルを徹底する。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフを効果的に活用する校内の体制整備
  - ・校内対策委員会の定期開催による児童生徒の状況の「的確な見立て」「適切な支援体制づくり」を強化する。

##### 2 未然防止

- 「絆」、「居場所づくり」を意識した学級づくり、特別活動の実践指導
  - ・特別活動担当教員等と連携した計画的な集団づくり・絆づくりを推進する。
  - ・児童生徒が主体的に取り組む集団づくり・絆づくりの取組を推進する。
  - ・スタートプログラム、アプローチプログラムを作成する。
- 生徒指導の3機能を意識した「分かる授業」の展開
  - ・新大分スタンダードに基づく魅力ある授業づくりを推進する。
- 校区内小中学校の効果的な連携支援の推進
  - ・小中合同行事、合同学習等小中連携による取組を推進する。

### 3 初期対応

#### ○いじめ・不登校防止の初期対応の徹底

- ・小中児童生徒支援引継シートによる組織的な支援を徹底する。
- ・個人支援シートを作成し、活用する。

### 4 解決支援

#### ○児童生徒の実態に応じた支援やいじめ解消の組織的な支援

- ・保護者との良好な関係づくりのための支援や校内の環境整備に取り組む。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、やまびこ学級、教育センター等と連携してケース会議を開催し、組織的な解決支援を行う。

## 【教育委員会での活用計画】

### 1 計画・組織

#### ○地域の小中学校の定期的な訪問による指導・助言

- ・地域の小中学校を定期的に訪問し、情報共有や指導・助言を行う。
- ・欠席集約の分析に基づいた各小中学校への指導・助言を行う。

#### ○市町村及び各学校の「いじめ対策・不登校児童生徒支援プラン」作成・改善・徹底の推進

- ・各学校の要請に応じて、プランの検証・改善を支援する。
- ・日田市版アクションプランを作成し、検証・改善を行う。

### 2 未然防止

#### ○「絆」と「居場所」を意識した共感的な人間関係づくりのサポート

- ・学校巡回での「絆・居場所づくり」の取組の指導・支援を行う。

#### ○研修会での講師、助言者としての活用

- ・構成的グループエンカウンターや小中連携による取組を発表する等の啓発活動を行う。
- ・校内研修や学年部研修に講師として参加する。また、資料提供を行う。
- ・出前授業を行い、人間関係づくりの取組の活性化を図る。

#### ○小中学校の連携推進

- ・小中児童生徒支援引継シートの取組の徹底と分析を行う。
- ・不登校児童生徒の進学先への訪問による指導・助言を行う。

### 3 初期対応

#### ○初期欠席対応システム構築の推進

- ・市内各学校の3日連続欠席、長期欠席の状況を把握する。
- ・状況の把握をもとに分析を行い、各学校への支援に活用する。

### 4 解決支援

#### ○教育センターや関係機関、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの効果的な連携の推進

- ・やまびこ学級、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の相談員等を効果的に活用した不登校児童生徒への支援を行うためコーディネートを行う。
- ・学校と関係機関、専門スタッフが連携した校内対策組織の的確な状況把握による計画的で個に応じた適切な支援体制づくりについて指導・助言を行う。
- ・図書館等を活用した支援を推進する。
- ・各学校での個人支援シートの活用に向けて準備を行う。